

新幹線プレス

2014年5月23日 No.169

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

自衛隊の海外派遣・戦争をする国づくりを許すな!

基地の街横須賀平和研修開催!

5月18日、新幹線地本は、横須賀平和研修を開催しました。横須賀軍港には横須賀を母港とする、原子力空母ジョージ・ワシントンが配備されています。ジョージ・ワシントンは福島第一原発1号炉と同規模の原子炉を積んでいます。事故が起きれば甚大な被害となります。

危険な原子力潜水艦の現状と基地のある街の現状を知る

研修ではまず、神奈川9条連代表であり立正大学名誉教授の藤田秀雄先生より「横須賀港及び市の役割と原潜の真実と私たちへの影響」と題する講演を受けました。藤田先生は「狭い東京湾に多くの船が行き来している。その中を原子力空母・原子力潜水艦も通っており、非常に危険である。原子炉を積んだ船が衝突し原子炉が爆発すればどうなるか」「これまでも原子力潜水艦で事故が起きている。放射能が漏れているのに何度も寄港したこともあった」「横須賀でも米兵による事件が起きているが、日本の警察は対応せず、米軍任せになっている。このことが犯罪を助長している」と危険な原子力潜水艦と基地のある街の実態を訴えました。

軍港を見学し平和の尊さを実感!

講演後、横須賀軍港が見える安針塚の丘に移動し、三浦半島9条連の志田さん、朝妻さんより説明を受けました。そこにはジョージ・ワシントンはじめ自衛隊のイージス艦などが停泊していました。参加者は、故が起きれば甚大な被害になることを実感し、平和の尊さを改めて感じました。私たちは戦争をする国づくりを許さず、憲法9条を守り広める闘いをさらに進めていかなければなりません。



